# 日本学術会議憲章検討分科会（第１１回）議事要旨

１．日　時：令和８年８月１９日（水）１０：００～１１：３０
２．場　所：オンライン開催
３．出席者：磯博康委員長、中村征樹委員、芳賀満委員、加藤和人委員、樋田京子委員、
　　沖大幹委員、森口祐一委員

４．議事次第
（１）前回議事要旨（案）について
（２）日本学術会議憲章案について

５．配布資料
・資料１　前回議事要旨（案）
・資料２　日本学術会議憲章案
・資料３　日本学術会議憲章案におけるコアとなる用語とその概念の解説
・資料４　第 27 期への申し送り表紙（案）
・資料５　ご意見への御礼と審議経過（案）

６．議事概要
日本学術会議憲章案について（主な意見）
・前文の「未来」と「将来」の表現について、学術は近い将来だけでなく長期的な視点を持つものであり、また後段の記載との整合性も踏まえ、「未来」を用いることが適当ではないか。
・国際連携に関する記載について、「規範形成」という表現は、学術が国際社会において積極的な役割を果たすことを示すものであるため、維持すべきではないか。
また、「地球・宇宙規模の課題」という表現に関し、「宇宙規模」という語にはやや違和感があるのではのではないか。
・第 27 期への申し送りについて、新たな会員が自分たちで決めた憲章であると思えるようなプロセスが必要か。また、これまでの議論の経緯や日本学術会議の使命、法人化に至る背景等について、新会員との間で十分共有することが重要ではないか。

以　上